あさひの日だまり

令和８年　10 月　２日（金）

No.14

辰野町立辰野東小学校　文責　大槻

前期終業式・後期始業式がありました
～小さなゴールを積み重ねるこどもたち～

10 月１日（木）に前期終業式・後期始業式がありました。終業式では、２年生、３年生、５年生の代表児童が「前期頑張ったこと、後期頑張りたいこと」について、次のように発表をしてくれました。

２年生：「（前期で勉強した）国語のお話はとても長いお話だったけど、頑張って読んだ。**後期はわからないところをそのままにしないように頑張りたい。**」

３年生：「漢字テストで 70 点だったが、再テストで 100 点をとれた。**後期は低学年のかっこいいリーダとして取り組みたい。**」

５年生：「同じ読み方でも漢字にはいろいろな文字がある。**何度も練習したり、研究したりして、漢字王になりたい。**」



東小学校では昨年度から「**挑戦**」をテーマに取り組んできています。今年も引き続き「挑戦」に取り組んでいますが、子どもたちには、大きな挑戦もすごいけれど、自分が達成できそうな「ちいさな目標に挑戦すること」、そして「そういう挑戦に頑張って取り組むこと」の大切さについて、お話をさせていただいています。

３人の発表は、まさにその「挑戦」を具現するような頑張りについての発表でした。長いお話を頑張って読んだからこそ、「できる」を感じられた２年生。最初から 100 点でなくてもいいんです。チャンスを大事にして、再テストで頑張って 100 点をとった達成感を感じた３年生。難しい漢字も、何度も練習することで、自分の身になっていくことを感じた５年生。**一人ひとりの目標は小さな目標でも、そのステップは達成感となって、次へのチャレンジへとつながっていきます。**すばらしい「挑戦」についての発表で、私も大変嬉しかったです。

後期の始業式では、３人のアニメキャラクターについてお話をしました。どんなキャラクターだったかは、お子さんやお孫さんに聞いてみてください（一人は野比のび太です）３人に共通することは何かを子どもたちの考えてもらいました。なかには「３人とも“勉強を頑張っている”！」という、素敵な回答もありました。

私が共通していると思ったことは「できないことがある」ということでした。３人とも、勉強が苦手だったり、魔法が使えなかったり、特技や個性が無かったりします。でも、**自分にできることに精一杯取り組んで、困難を乗り越え、道を切り拓いていきます。**

後期の始まりにあたり、子どもたちには、**苦手なことやうまくできないことがあってもいいので、自分で決めたちいさなゴールに向かってチャレンジしてみる気持ちを大事にしてほしい**、ということを伝えさせていただきました。

裏面あり

そして、後期がはじまって最初の全校行事はマラソン大会です。

「ちいさなゴール」に向かって挑戦すること、そしてそのゴールの達成に向け、校長先生チャレンジを行うことにしました。

目標は、子ども自身が自分で決めます。

私は「出張で学校にいる日は、必ずみんなとマラソン練習をすること」を目標にしました。



そんな「自分で達成できる」「自分で頑張れそう」だと思う目標の設定で構いません。その目標を達成出来たら、記録証とは別に、私から賞状を渡します。すでにたくさんの子が校長室に目標を届けに来てくれています。**マラソン大会で、みんなの目標を達成した笑顔に出合えることを、今からとても楽しみにしています。**

～修学旅行に行ってきました～

９月 14 日、15 日に修学旅行に行ってきました。あれだけ雨の多かった９月ですが、東小の６年生パワーで１日目は快晴。２日目もほとんど降られることなく、予定通りに実施ができました。６年生は、自分たちで考えて行動することを大事にしながら、楽しむときは楽しむ、やるべきことにはやる、というメリハリをつけ、６年生らしい姿で２日間を過ごしてきました。



お伝えしたい素晴らしい姿はたくさんあるのですが、**私が　本当に素晴らしいと思ったのは、左の写真の姿です。**

これは、２日間の行程を終え、学校に戻ってきた 19 時過ぎ、担任の先生の話を聞く６年生の姿です。**疲れていたと思いますが、全員の顔が先生を見て、話をきちんと聞いています。**

私の話も最後まできちんと聞いてくれました。小学生で、なかなかできることではありません。

後期の始業式でも、６年生は最後まですばらしい姿勢で話を聞いてくれました。

人の話に耳を傾けられるのは、心が育っているからこそだと思います。

